

九州・沖縄地区の「医療機関」倒産動向（2024 年）

医療機関の倒産が 2000 年以降で過去最多。 「患者が戻らない・・・」苦戦する医療機関が続出

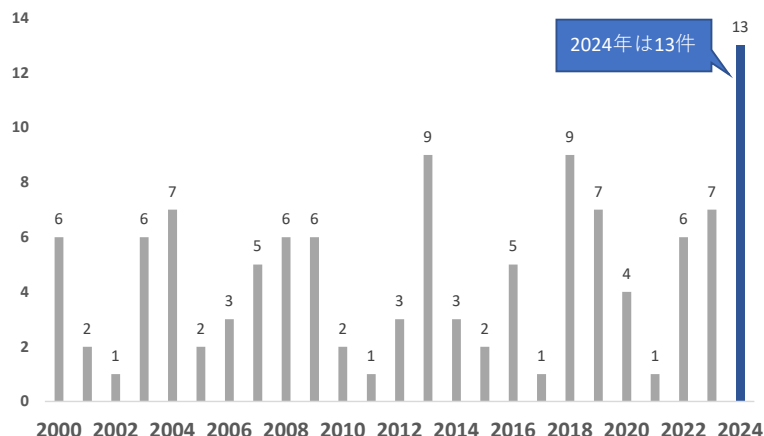
九州・沖縄地区の医療機関（病院・診療所・歯科医院）の経営事業者の倒産が、2024 年には病院 2 件、診療所 6 件、歯科医院 5 件の計 13 件発生。2000 年以降で最も多かった 2013 年、2018 年（各 9 件）を上回り、過去最多を更新した。

業態別の負債は病院が 24 億 8200 万円、診療所が 8 億 7800 万円、歯科医院が 6 億 100 万円で総額は 39 億 6100 万円となった。負債額が最大となったのは医療法人社団アブラハムクラブ（負債 13 億 1200 万円、病院、宮崎県、8 月民事再生法）、続いて、医療法人篤信会（同 11 億 7000 万円、病院、長崎県、6 月破産）となった。背景にはコロナ禍に減少した患者がアフターコロナにおいても来院者数が戻らずに苦戦していることなどが考えられる。また、経営者の高齢化や健康問題を理由に継続を断念する施設が増加し、過剰債務などを理由として廃業ではなく法的整理を選択するケースが増えている可能性もあり、医療機関の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。



アブラハムクラブ外観（申請時）

九州・沖縄地区の医療機関の倒産件数推移（2000年～2024年）



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部

TEL:092-738-7779 FAX:092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。